

令和元年度上半期 学会誌編集委員会活動報告

委員長：井上 健 副委員長：上條岳彦

委員：伊勢 一哉、加藤 元博、野崎 美和子、澤田 明久、宗崎 良太、橋井 佳子
脇坂宗親

日本小児血液・がん学会雑誌について

① 56 巻 期間内発刊号数

56-1 号 (2019 年 4 月 12 日公開)

56-2 号 (2019 年 9 月 10 日公開)

② 期間内投稿状況 (原著、症例報告、総説)

<u>一般投稿数</u>	13 編
(内訳)	
原著	5 編
症例報告	7 編
総説	1 編
<u>依頼総説 (講演記録)</u>	28 編
<u>期間内アクセプト (依頼総説を除く)</u>	11 編
(内訳)	
原著	2 編
症例報告	8 編
総説	1 編
<u>期間内リジェクト</u>	1 編
(内訳)	
原著	0 編
症例報告	1 編
総説	0 編

③ その他

- ・共著者の著作権譲渡同意書について

現在 1 枚にまとまっているため、共著者の所属が様々である場合、かえって作成しづら
いと責任著者から意見あった。著者のストレスを軽減し、より簡便で使い勝手をよ
くするために、現在のフォーマットをもとに、

- ・共著者ごとに、バラバラに提出しても可

- ・ただし、責任著者が集約をして編集事務局にまとめて同封すること
- ・共著者番号を削除

となった。

- ・依頼原稿での英文抄録について

2018年11月の投稿規定の改定に伴い、講演記録（依頼総説）の場合でも、会員の場合は英文アブストラクトを作成してもらうことになった。

それに基づき講演記録の執筆依頼をしたところ、会員ではあるものの英文アブストラクトを辞退したいという申し出があった。メール上での編集委員会審議を経て、さらに陪席の編集委員会で審議をした結果、原則的には英文アブストラクトを作成してもらうが、どうしても辞退したいという著者には理由書を提出していただき、担当編集委員が検討することになった。

- ・各論文のフッタ（ランニングタイトル）の文字制限について

現在の投稿規定で規定されているランニングタイトルの文字数は、「全角15字以内」となっている。実際には15字を超えて投稿されてくる論文も少なくないが、組版上支障がないため、そのままになっている。審議の結果、ランニングタイトルは少ない方がよいので、投稿規定はこのままとし、実際には20字程度まではよいということになった。20字を超えた場合は、編集委員長が審議することになった。

- ・査読者の選定について

担当編集委員から、査読者を選定する際に断られるケースがあり、次点候補者の選出に苦慮している、という意見が出された。予め次々点候補者まで選出し編集事務局に指示をしても構わないことになった。どうしても候補者選出に苦慮する場合は、メール上で編集委員会審議とし、編集委員から意見を募っても構わないことになった。

以上